

# 研究部報告

(研究部長 北原 延晃)

## 1. 夏の語い指導ワークショップ

第5回を迎えた語い指導ワークショップは8月2日日野学園、3日狛江一中、22日第二南砂中にて行われ、のべ91名(過去最高)の参加者があった。今年の特徴は若い先生方の参加が非常に多く、近年の教員採用数の増大を反映したものであったことだ。若手教員の育成を図っていくことの重要性をひしひしと感じた3日間であった。

## 2. 研究の概要

平成13年度から4年連続して「語い指導」のあり方について研究を行ってきた。そしてその集大成として昨年度は「都中英研研究部推奨発表語いリスト(written)635語」を選定した。この635語は日本人の中学生が「聞いてわかり」「読んで意味がわかり」「発音でき」「つづりまで書ける」ようにさせたい語いである。

今年度の研究は次の通りである。

### 1. 研究の流れ

(1) 6社の教科書の電子データの中から次のものを残して後は削除した。

- ①本文
- ②本課と本課の間にあるLet's Talkのような本課に準じるページの文
- ③まとめや練習の中の文

(2) 調査する重要動詞を選定した。

選定基準は次の3つの条件をすべて満たしていることである。

- ①平成14年度版教科書7社すべてに出現する語
- ②青山学院語彙リスト(AGL)でレベルが7の語
- ③平成17年度選定中英研研究部推奨発表語い(written)635語

具体的には以下の語になる。

ask become beging bring come cry cut do drink eat enjoy find get give go have hear help hope know leave live look love make meet need open play rain remember say see send show sit speak start stay stop study take talk teach tell think try turn use visit wait walk want work worry write

(3) コーパスソフト Ant Conc を使って教科書ごとにコロケーションを調べ、ヒットした語句をエクセルに入力していった。

### 2. 「検定教科書にあらわれる重要動詞のコロケーション調査(中間報告)」

本年度調査したのは4社の教科書に現れる一部の重要動詞(ask, bcome, beging, bring, come, cry, cut, do)のコロケーションである。

動詞の次に来る語句をカテゴリーごとに記した。これらは可能な限りそのままの語句を収録するようにした。

### 3. おわりに

語いの指導は単語だけではなくコロケーションと共に指導する方がずっと記憶に残る。研究部のホームページからダウンロードして日々の授業で活用していただきたい。

<http://www.eigo.org/kenkyu>